

1990 年度土地制度史学会秋季学術大会（於 神奈川大学）

第1日 10月27日（土）

1. 自由論題報告

第1会場 7号館4階744講堂 10:00~16:30

1. 農業部面における市場価値規定—市場価値と「虚偽の社会的価値」—
神奈川大学大学院 熊谷 隆一
2. ヨーロッパの統合と東西ドイツの統一
証券経済研究所 相沢 幸悦
3. 韓国における〈借款資本主義〉的蓄積体制の成立と展開—朴政権期の外資導入を中心に—
法政大学大学院 金 元重
4. ソ連経済構造の「ペレストロイカ」—第12次5ヶ年計画（1986~90年）
の暫定総括をめぐって—
東京大学 二瓶 剛男
5. 再生産=循環過程と地域農業構造・産業地帯構成研究の再検討
—G.Fabiani 教授グループによる農業の地域システム分析を受けて—
日本福祉大学 島崎美代子・丸山 優

第2会場 7号館5階753講堂 10:00~15:30

1. 韓国における農村支配構造に関する一考察—在村精米商の性格を中心に—
鹿児島大学大学院 祖父江利衛
2. 韓国における農民層分解の現段階—低賃金と零細農耕の関係をを中心に—
日本農業研究所 加藤 光一
3. 1970年代におけるアメリカの食糧戦略—ウィリアムズ委員会報告と経済開発委員会
報告を中心に—
東北大学 冬木 勝仁
4. 水田農業の後退と再編の課題
農業総合研究所 宇野 忠義

第3会場 7号館5階751講堂 10:00~16:30

1. 幕末維新时期における北海道漁業構造の展開—西蝦夷地三地域を事例として—
東京大学大学院 中西 聡
2. 鉱山と地域経済—明治・大正期の小坂村を中心に— 早稲田大学大学院 岡田 有功
3. 第一次大戦前後の液体燃料政策と石油業 立命館大学 伊藤 武夫
4. 昭和恐慌前後における失業救済事業の展開と労働市場の特質
東京水産大学 加瀬 和俊
5. 1920・30年代朝鮮綿業の展開構造 東京大学大学院 ・ 晟源

第4会場 7号館5階752講堂 10:00~15:30

1. イギリス1910年総選挙と関税改革論争 岩手大学 関内 隆
2. 19世紀末ドイツ電機工業における労働時間管理 京都大学 今久保幸生
3. 「ポンド体制」下におけるアメリカ製造企業の貿易信用—「アメリカ製造業者輸出協会」の活動を中心として—
名古屋工業大学 須藤 功
4. ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体の誕生—ベルギーの対応を中心として—
名古屋大学 小島 健

2. 総会 7号館5階751講堂 16:30~17:20

3. 懇親会 横浜中華街 陽華樓 18:00~20:00

第2日 10月28日(日)

共通論題報告 10号館4階1041 9:30~17:00

戦後日本資本主義の世界的・歴史的的位置

報告

1. 世界的リストラクチュアリング期における日米関係 専修大学 矢吹 満男

2. 1980年代の日本資本主義におけるME化・情報化の展開—その意義と限度—

関東学院大学 久保 新一

3. 戦後改革期の日本資本主義における労資関係—「従業員組合」の生成—

千葉大学 三宅 明正

4. (補足報告) 戦後改革とフランス資本主義の再編

東京大学 廣田 功

討 論

司 会

明治学院大学 大石嘉一郎

専修大

学 二瓶 敏

都立商科短期大学 西川 純子